

令和7年度前期 東予東中学校学校評価結果と改善策

西条市立東予東中学校

【学校生活】

○生活

「楽しく学校生活を送ることができている」の項目では、肯定的な意見が生徒96%、保護者96.5%、教職員の肯定的意見も100%となっており、ほとんどの生徒が楽しく学校生活を過ごすことができている。一方「いじめやいたずらでいやな思いをしていない」の項目では、肯定的な意見の生徒は94%、保護者88%であるが、いやな思いをしていると回答した生徒は3%、保護者8%となっている。見えにくいいじめやからかいが存在する可能性があることを常に意識し、見守り、教育相談、生活アンケート等で生徒の悩みや不安によりそっていききたい。また、保護者と連絡を密に取り、生徒の小さな変化も見逃さず、大きなトラブルに発展しないよう対応していききたい。

○学習

「分からないところを先生や友達に相談している」では88%の生徒が分からない問題について解決を図ろうとしている。しかしながら、保護者28%が「そうは思わない」という結果であった。授業中に小テストやホワイトボードを使った確認、振り返りシートで疑問を書かせるなど、「質問を促す仕掛け」を配し、質問できる機会を増やしていきたい。「ICTの活用」「学び合い学習」に取り組み、生徒同士の学びをつなげるとともに、定期テスト期間中のGST（学習相談タイム）を引き続き実施し、生徒の「分からない」に答える学校でありたい。

「落ち着いた雰囲気授業ができている」では、保護者の肯定的な意見は81%、教員92%であったが、生徒の肯定的な意見は65%、否定的な意見は22%となっている。肯定的な意見は、昨年度の同時期アンケートと比べて、-6.4%となっている。授業担任が早く教室へ行き、授業の2分前着席、黙想で静かに授業に入る雰囲気づくりを徹底させたい（教職員92%）。また、生徒が夢中になれるような授業が展開できるように、教職員の授業改善に努めたい。授業中の取組が十分でない生徒や落ち着きがない生徒への対応として、真剣に授業に取り組むことの意義を理解させ、教育支援員と協力しながら、その場での指導を徹底していく必要がある。

○情報公開

保護者の88%が「ホームページや学校だよりをよく見ている」と回答した。ホームページはほぼ毎日更新しているので、今後もホームページや学校だよりを充実させ、様々な面から学校生活の様子を発信していき、地域から信頼される学校づくりの一翼を担いたい。

○部活動

「部活動は日々充実し、自分のためになっている」の問いに、実感していると答えた生徒が84%、保護者90%だった。保護者の肯定的な意見は、昨年度の同時期アンケートと比べて、+9%となっている。今後も部活動を通して専門種目の技能を伸ばすとともに、精神面での成長も後押しできるように活動していきたい。

【家庭生活】

○挨拶

本校の重点目標の一つとして「明るい挨拶」を掲げているが、83%の保護者が、生徒たちは地域でよく挨拶をしていると感じており、生徒たちも92%が挨拶をしていると答えている。生徒会による挨拶運動や、学級委員会によ

る挨拶チェックなど、今後も挨拶の励行に努めていきたい。

○進路

「家庭で学校の様子や将来の進路、生き方について話をしている」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒は 72%、保護者のアンケートで、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は合わせて 88%だった。3 年生は進路選択が近付いているため、保護者と相談する機会が多くなっていると考えられる。また、2 年生は 1 学期にジョブチャレンジ（職場体験）を行い、自らの具体的な進路について、地域に出向き、実際に働きながら考える機会を持った。しかし、1 年生はまだ進路について考えることが少なく、将来について漠然としている状態であると考えられる。キャリアパスポートの活用、高校調べなどを通して、今後も充実した進路指導を行ってきたい。

○学習

「家庭学習の一日平均時間」についての生徒の回答は、「2 時間以上」が 12%、「1 時間以上 2 時間未満」は 39%、「1 時間未満」は 38%、「していない」は 11%であった。全国学力状況調査の平均正答率は県平均、全国平均より上であったが、学習習慣を付けることは、「生きる力」を育むためにも大事なことである。家庭での学習習慣が定着するように、宿題の質の向上、工夫、改善を行っていきたい。「何を、どのくらい、どのように学習すればよいか」が分かりにくい生徒には、学習の記録をつける仕組みや、短時間でも取り組みやすい課題の工夫によって、習慣化を促していきたい。また、家庭学習時間が少ない生徒は、ゲームやスマホを過度に使用している傾向がある。「家庭でゲーム機やスマホの利用についてのルールや約束ごとを決め、守っている」の項目では、13%の生徒が「そう思わない」（保護者 38%）と答えている。使用過多になることで学習時間が削られたり、睡眠不足になったりする。1 学期、フィルタリングマンによる講演会を行い、注意喚起や啓発を行ったところであるが、使用のルールを守り、トラブルを未然に防ぐよう、保護者と連絡を取り合いながら指導していきたい。

○交通

「交通ルール（登下校中の並進をしない・ヘルメット着用等のルール）を守れている」については、生徒 93%、保護者 98%という結果となった。昨年度、自転車での事故が多発したことを受け、交通安全教室を実施したり、学級での交通マナーの確認したりするなどした。今後もこのような啓発や登下校の見守りを続け、事故を未然に防ぎ、交通ルールや交通マナー向上を目指していきたい。

○朝食

「朝食は毎日とっている」については、2%程度が朝食をとっていないという現状である。健康は「早寝・早起き・朝ごはん」と言われるように、生活リズムを整え、健康的な生活を送るためにも、生徒全員が確実に朝ごはんを食べて登校できるように家庭に協力をお願いしていきたい。

アンケート結果の反省を生かし、今後も更に良い教育活動を行っていけるよう、努力していきたい。学校生活の様子の見守りを日々継続し、必要に応じて保護者や関係機関、地域にも協力をお願いして指導していきたい。